

第63回全日本弓道大会

1. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
2. 主管 京都府弓道連盟
3. 後援 京都府・京都府教育委員会・財団法人京都府体育協会
京都市・京都市教育委員会・財団法人京都市体育協会
4. 期 日 平成24年5月2日(水)・3日(木)
2日：錬士の部・範士の部
3日：有段者の部・教士の部
5. 会 場 京都市勧業館「みやこめっせ」 <http://www.miyakomesse.jp/>
〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1
TEL：075-762-2630
京都市営地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分
6. 競技種目 近的競技(坐射・的中制・直径36cm霰的)
7. 競技種類 個人競技
8. 演武種別 有段者の部(四段以上)・錬士の部・教士の部・範士の部
9. 競技種別 有段者の部(四段以上)・錬士の部・教士の部
10. 競技規定 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。
11. 競技日程
5月2日 8:00 開館
9:30 開会式・矢渡
10:30 演武・決勝(錬士の部・範士の部)
競技終了後 表彰式
5月3日 8:00 開館
9:00 演武・決勝(有段者の部・教士の部)
競技終了後 閉会式
12. 演武方法 (1) 各部とも一手1回とし、原則として各射場とも5人立で行う。
(2) 演武は「競技における行射の要領」で行う。
13. 競技方法 (1) 競技出場者は、各部とも演武皆中者から選出する。
(2) 競技は「競技における行射の要領」で行う。
(3) 射詰競射にて順位を決定する。射詰の3射目以降は、24cm星的を使用する。
的中を逸した同位者は、36cm霰的を使用し遠近競射で順位を決定する。
14. 表 彰 (1) 範士の部は、演武の中から優秀者を選出し、賞状及びメダルを授与する。
(2) 有段者・錬士・教士の各部は、優勝～5位までに賞状及びメダルを授与する。
(3) 錬士及び範士の部の表彰は1日目の競技終了後に行う。
15. 参加資格 (1) 錬士・教士・範士の各部は本連盟の称号受有者とする。
(2) 有段者の部は本連盟の称号者を除く四段以上の受有者とする。
(3) 大会役員及び競技役員も参加できる。
16. 参加料 1名：3,000円
17. 締 切 日 平成24年4月2日(月) 厳守
18. 宿 泊 各自手配のこと。
19. 注意事項 (1) 大会参加にあたり「大会参加にあたって」を確認すること。
(2) 月刊『弓道』平成24年1月号に折込の申込書又は各地連に配布の申込書を用いること。
(3) 演武及び競技の服装は、弓道衣(白筒袖・袴・白足袋)又は和服とし、
受付時に配布するゼッケンを付けること。